

## 平成 26 年度第 2 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

### 春の用水路で産卵期の魚の観察を実施しました。

開催日時：平成 26 年 4 月 26 日（土）10 時 00 分から 14 時 00 分まで  
開催場所：かすみがうら市、霞ヶ浦湖岸川尻ウェットランド付近の水路  
参加者：32 名

今年度最初の魚の観察会は、「春の用水路で産卵期の魚の観察」。寒い季節を乗り切った魚たちは、春を迎えて活発になり、この時期産卵を迎える種も多くいます。

当日は絶好の観察日和。場所は霞ヶ浦湖岸そばの水路。まず子どもの参加者に、たも網の使い方のレクチャーから観察会をスタート。

はじめは網を上手に扱えなかった子どもたちも、コツを掴むと次々と魚を捕まえられるようになり、水槽の中にはいろいろな魚たちが集まりました。この細い水路に多様な生物がはぐくまれていることが分かりました。

昼食を挟み、さらに観察を続けると、タナゴ類の産卵母貝になるドブガイ、また水草に産み付けられたコイと思われる魚の卵なども見つかりました。

最後に全員で採取した魚を観察しました。タイリクバラタナゴのオスはきれいな婚姻色を見せ、またメスは貝に卵を産み付けるための産卵管を長く伸ばしている個体もいました。いまでは絶滅危惧種となっているメダカも見つかりました。魚ではないですが、子どもたちにはクサガメも人気でした。

霞ヶ浦は多くの生き物をはぐくむ大切な場所であり、水質浄化も含め、わたしたちの大切な財産であることを実感した一日でした。

参加者の皆さん、パートナーの皆さん、当日はお疲れ様でした。

環境活動推進課 福井正人

今回、観察した生き物は次の通り。

魚類：ギンブナ、タイリクバラタナゴ、モツゴ、ヨシノボリ、メダカ、コイ、ドジョウ、  
タウナギ、ボラ（ハク）、ブルーギル

甲殻類：スジエビ

は虫類：クサガメ

快晴の空の下、観察現場に到着  
当日はテレビ取材がありました。





皆さん夢中でたも網を操ります。



何が採れたかな



いろいろな魚が捕れました。



皆さんで取れた魚を学習します。



タイリクバラタナゴのオス，メスです。